

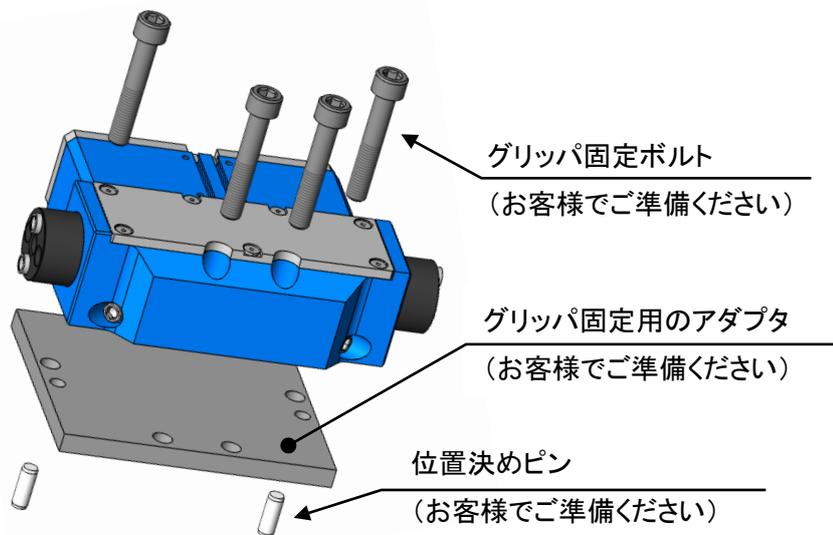
6. 取付け

6-1. グリッパの取付け

① 前面取付け

4箇所の固定ボルト穴および2箇所の位置決めピン穴を利用してグリッパ本体を取付けてください。

尚、グリッパ固定用のアダプタ、グリッパ固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。

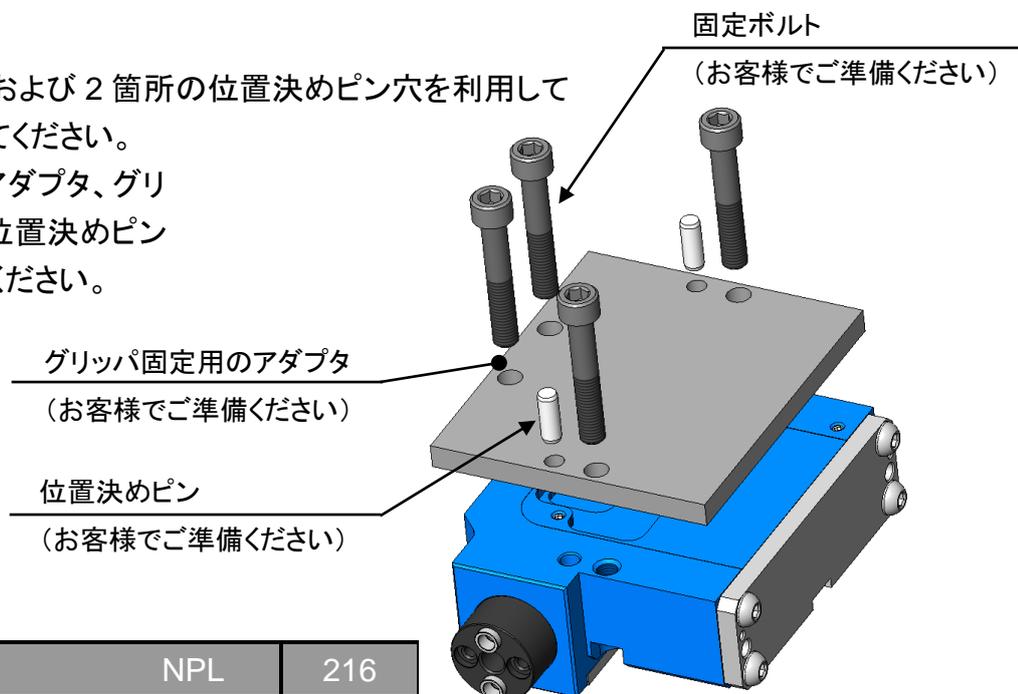


型式	NPL	216
グリッパ固定ボルトサイズ		M8
位置決めピン穴	径 ($0^{+0.025}$) (mm)	$\phi 8$
	深さ (mm)	10

② 背面取付け

4箇所の固定ボルト穴および2箇所の位置決めピン穴を利用してグリッパ本体を取付けてください。

尚、グリッパ固定用のアダプタ、グリッパ固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。

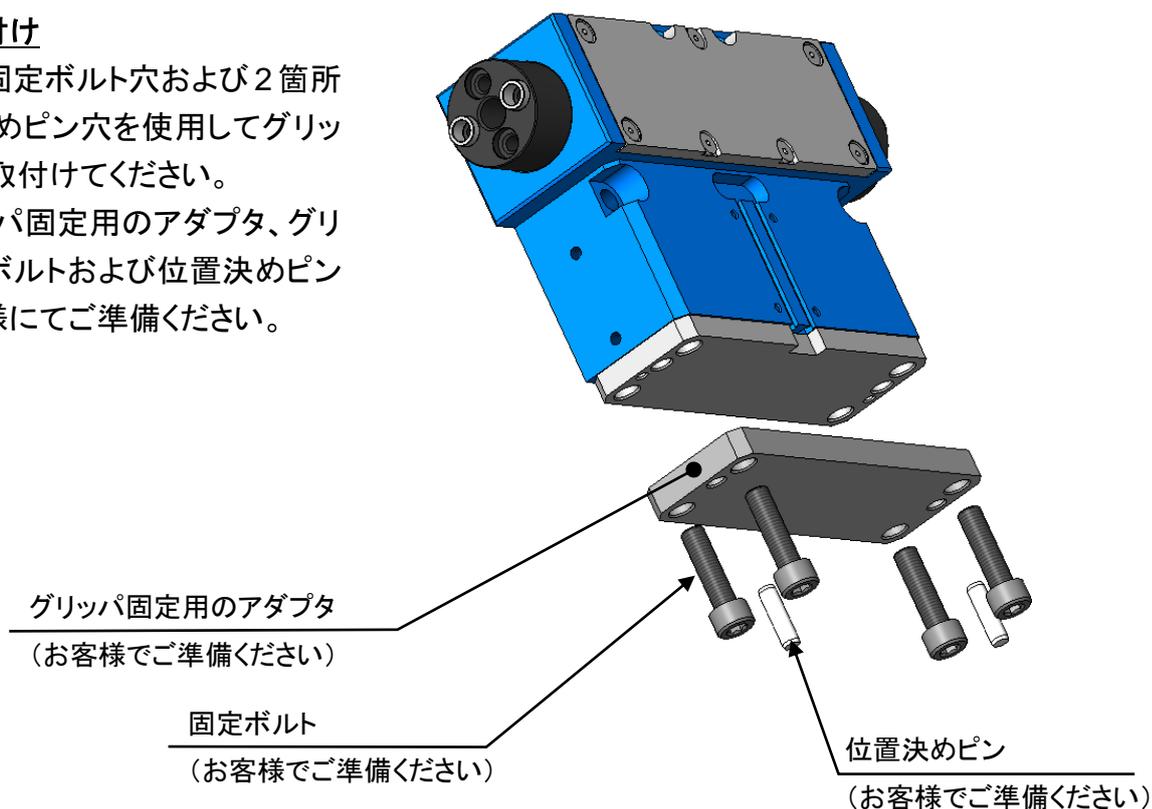


型式	NPL	216
グリッパ	サイズ	M10
固定ボルト	ネジ深さ (mm)	18
	径 ($0^{+0.025}$) (mm)	$\phi 8$
位置決めピン穴	深さ (mm)	10

③ 底面取付け

4箇所固定ボルト穴および2箇所の位置決めピン穴を使用してグリッパ本体を取付けてください。

尚、グリッパ固定用のアダプタ、グリッパ固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。



型式	NPL		216
グリッパ 固定ボルト	サイズ		M8
	ネジ深さ	(mm)	16(24)
位置決めピン 穴	径 ($0^{+0.025}$)	(mm)	$\phi 6$
	深さ	(mm)	8(16)

※()内の寸法は取り付け面からの深さを示しています。

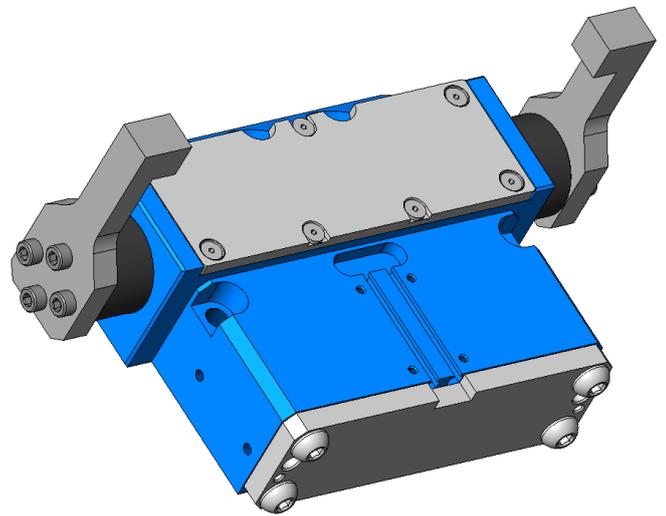
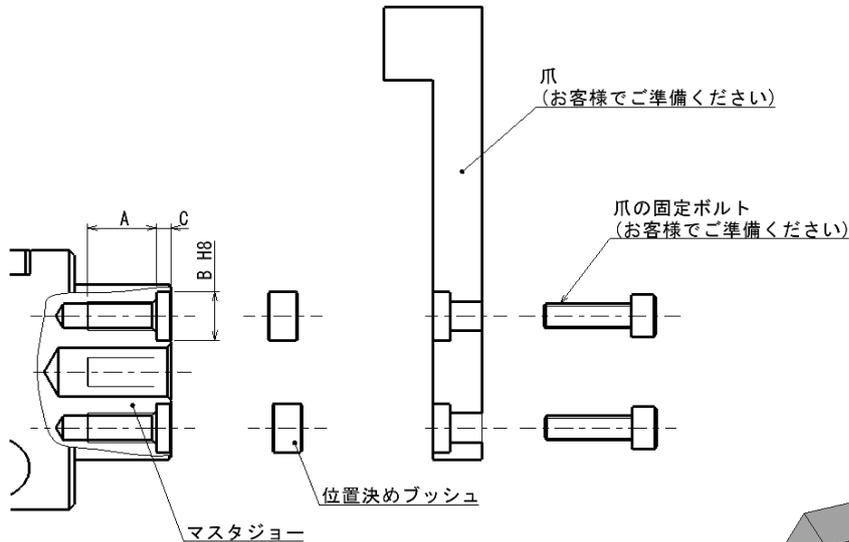
危険

- ボルトは必ず規定トルクで締付けてください。締付トルクが不足したり、または過大だとボルトが破損し、グリッパや搬送物が飛散する可能性があります。

6-2. 爪の取付け

4箇所の取り付けボルト穴、インローおよび位置決めピン穴を使用して爪を取り付けてください。

尚、爪、爪の固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。



型式		NPL	216
取付け ボルト	サイズ		M6
	ネジ深さ	A(mm)	14
位置決め ピン穴	径(H8)	B(mm)	φ10
	深さ	C(mm)	3

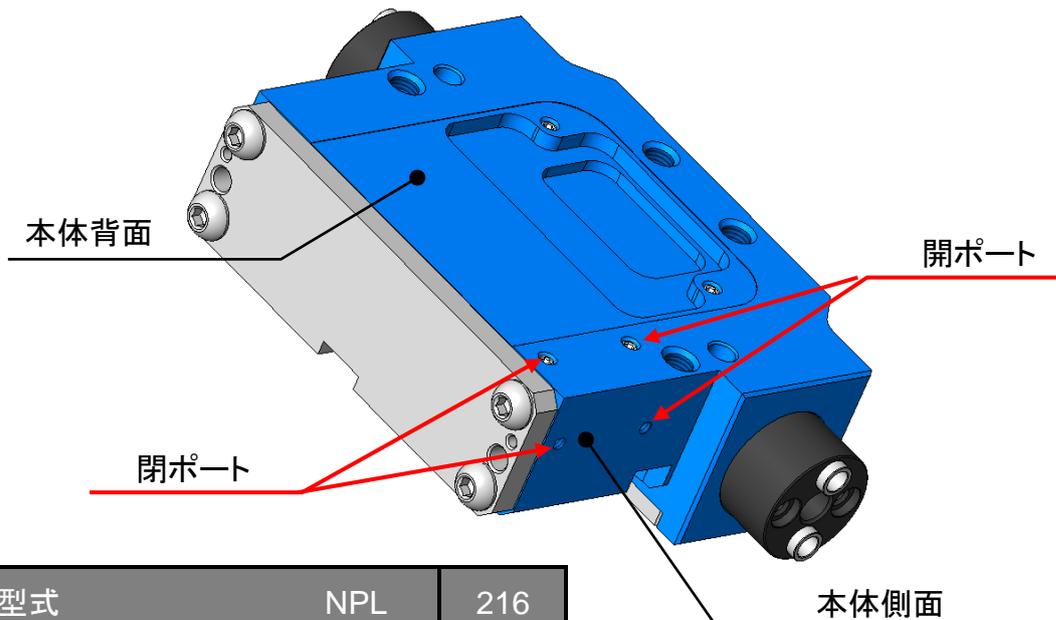
※取付けボルトを締め付けトルク 13N・m で取り付けてください。

危険

- ボルトは必ず規定トルクで締付けてください。締付トルクが不足したり、または過大だとボルトが破損し、爪や搬送物が飛散する可能性があります危険です。
- 爪を取付ける時は、空圧用配管を取外してから作業を行ってください。

6-3. 空圧用配管の接続

グリッパの爪を開閉させる為の空圧供給口は、本体側面と背面に設けています。本体側面の供給口を使用される場合は、直接空圧用配管を取付けて下さい。もし、本体背面の供給口を使用される場合は、出荷時にエア漏れを防止する為の止めねじを取付けていますので、その止めねじを取外した上でグリッパを固定するアダプタから供給して下さい。尚、本体側面の開閉ポートを塞ぐねじは、お客様にてご準備ください。



型式	NPL	216
本体側面のポートサイズ		M5
本体背面のポートサイズ		M5

留意

- 本体背面の空圧供給口は、エア漏れを防止する為に止めねじへ接着剤を塗布して取付けていますので、非常に取外し難くなっています。その為、その止めねじを取外す際は、止めねじを破損させないように慎重に作業して下さい。
- 止めねじを取外した後は、本体のねじ穴に固着している接着剤をきれいに除去して下さい。この時、除去した接着剤が、シリンダ内に入らないようにして下さい。

警告

- 空圧用配管の接続は、必ず空圧力を遮断して行ってください。
- 使用流体は圧縮空気を使用してください。
- 圧縮空気が化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガスを含む時は破損や動作不良の原因となりますので、使用しないでください。

注 意

- エアフィルタ(ろ過度は 5 μm 以下)を通した清浄なエアを使用してください。
- 使用流体温度及び周囲温度は 5~60°Cの範囲内でご使用してください。
- 無給油で使用できますが、給油される場合は、タービン油 1 種(無添加)ISO VG32 を給油してください。
- ISO 8573-1 4 級に準じて、アフタークーラ、エアドライヤ、ミストセパレータなどを選定し、ドレン対策を施してください。
- 開閉速度が必要以上に早くならないようスピードコントローラなどで調整ください。

6-4. スイッチの取付け

リードスイッチは下記に示す型式を使用してください。

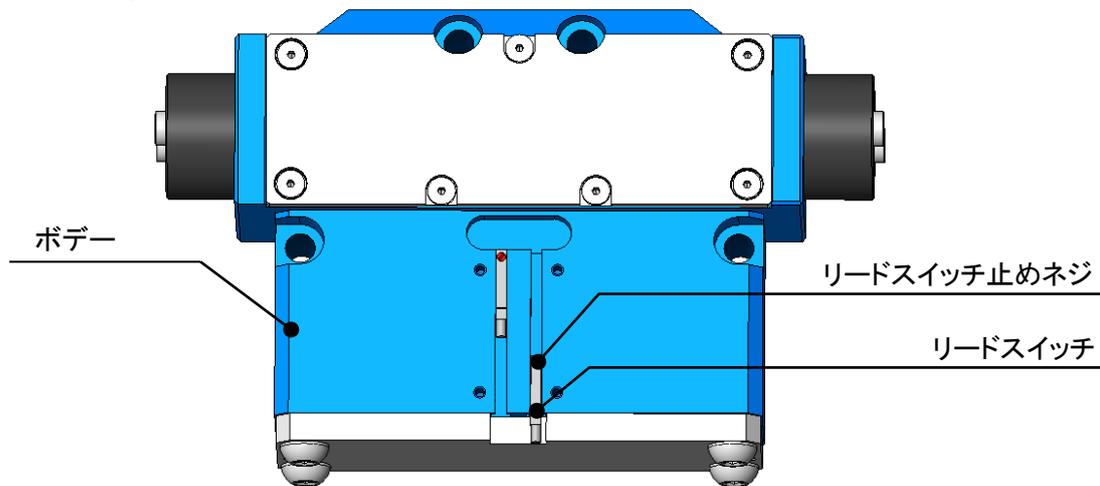
項目	CKD			SMC	
	無接点 2線式			無接点 2線式	
型式	F2H	F2V	F2S	D-M9B	D-M9BV
リード線取出し形状	ストレート	L字	L字ショート	ストレート	L字

※記載のないリードスイッチでは反応が安定しない可能性があります。

リードスイッチの取付け

ボデーに設けている溝を使用して、リードスイッチを取付けてください。

リードスイッチを使用する場合、リードスイッチとアダプタが干渉しないように、アダプタを設計して下さい。



● 閉端側の取付け手順

- ① マスタジョーを閉端位置へ移動させます。
- ② ボデーに設けられたセンサ取り付け溝にリードスイッチの取付けを行います。
- ③ リードスイッチをゆっくり上下に移動させます。
- ④ リードスイッチが検出した位置で、リードスイッチに設けている止めネジを締め込み固定します。
- ⑤ マスタジョーの開閉動作を繰り返して、リードスイッチが検出できることを確認します。

※ワーク外径把持の場合は、ワークを把持させた状態で、上記調整を行ってください。

● 開端側の取付け手順

- ① マスタジョーを開端位置へ移動させます。
- ② ボデーに設けられたセンサ取り付け溝にリードスイッチの取付けを行います。
- ③ リードスイッチをゆっくり上下に移動させます。
- ④ リードスイッチが検出した位置で、リードスイッチに設けている止めネジを締め込み固定します。
- ⑤ マスタジョーの開閉動作を繰り返して、リードスイッチが検出できることを確認します。